

清水町 町名変更に関する住民説明会 要旨

令和8年2月2日（月）14：00～15：45
清水町文化センター 大集会室

出席者：71名

説明員：・町長、西田副町長、鈴木企画課長

事務局：佐藤企画課長補佐、青砥企画統計係長、有田企画統計係主事

1 開会

2 町長あいさつ

3 情報提供

別紙資料について説明（鈴木課長）

4 意見交換

○町名変更に係る個人の負担とは具体的に何をさすのか教えてほしい。

→（鈴木課長）

町民に金銭的な負担は無いが、住所が2文字長くなることやインターネット上における登録情報等、細かい部分での負担をかける場合もある。事業者には町名変更に係る費用負担が若干発生する見込みであり、町としても一部支援するかたちをとりたい。

○ふるさと納税にはどの程度影響がありそうか。

→（鈴木課長）

毎年変更のある制度を遵守しながら、町名変更を1つのきっかけとして、多くのの寄附をいただけるよう進めていく。

○住所の上川郡を削除することはできないのか。

→（鈴木課長）

変える権限は都道府県がもっており、北海道と協議しながら進めていく必要があるため、ハードルは高い。郡がつかない町村は全国で小笠原諸島のみである。

（町長）

今までいろいろな場所で使っていた十勝清水を町名も含め統一して使いたい。町名変更はスタートであり、町名変更の話題で町の認知度を高め、町内の企業を大事にしながら企業誘致も進めていき、町内に働く場所を創出したい。上川郡は今の時代にあっていないと思っているため、国に相談をしていきたいと思う。

○1億円以上の経費がかかる中で、更に住民投票やその他いろいろな経費もかかる。全体の経費がわからないと住民投票で判断できない。

→（鈴木課長）

現時点で大きなもの以外の金額は積算しきれていない部分もある。大きな金額ではあるがそれ以上のメリットがあると考えている。

○ふるさと納税は実質カタログショッピングであり自治体の話題性は関係ない。

→（鈴木課長）

返礼品重視となっている現状は把握している。町名変更をきっかけとしたふるさと納税の寄附額向上と取り組みを行っていききたい。

○清水小学校の名称は町名変更に伴いあわせて変更になるのか。

→（鈴木課長）

現在の正式名称は清水町立清水小学校であり、十勝清水町立清水小学校になると思われるので、清水小学校と呼ばれている部分の名称は変わらない。

○今回の認知度調査はどのような目的で行ったのか。

→（鈴木課長）

道外8割、道内2割の対象者に対し、「清水町」と「十勝」の全国的な認知度の把握を目的として実施した。

○個人の大きな負担は無いとの説明であるが、何か根拠はあるのか。

→（鈴木課長）

住所の関係等、細かい部分の負担は発生する可能性がある。引き続き可能な限り調査していききたい。

○住民説明会は2日間（計4回）しか実施しないようだが、不十分ではないか。

→（鈴木課長）

今後農村部でも福祉館単位で開催する方向で調整している。具体的な日程は改めてお知らせする。説明の機会は多く設けていききたい。

○十勝清水町以外の町名は検討したのか。

→（鈴木課長）

名称の統一化が目的の1つであるので、それ以外については現状では検討していない。

○住民投票の時期について、5月までに町民が理解を深められるのか疑問である。大事なことなのでもっと時間をかけて慎重に検討していくべきではないか。

→（副町長）

住民投票は5月頃に実施を予定している。実施予定時期までの3カ月程度で、いろいろな手法で皆様に町名変更について理解を深めてもらえるように丁寧な説明に努めていく。電話での問合せや要望があれば行事等に出向いての説明も検討している。HPや広報でも伝えていきたい。住民投票の結果がどうなったとしても、今後のまちづくりについて皆様と情報を共有し、協力して進めていきたい。

→（町長）

いろいろな議論の必要性は理解しているため、丁寧な説明をした上で、早ければ早いほど効果があるとの考えのもと進めていきたい。

○JAやJR等、すでにいろいろなところで十勝が使われている中で、正式に町名に十勝をつけても大きな変化はないと思う。十勝じゃなくて清水町で勝負してほしい。費用対効果が悪いと思う。

→（町長）

清水町に十勝をつけることで、認知度向上の取り組みを加速させたい。

○資料10ページの数値目標が曖昧である。町名変更を進めていくのであれば、もっと具体的な高い目標に向かって進んでいくべきだと思う。

→（鈴木課長）

ご意見をして受け止めさせていただき、これから検討させていただきたい。

○町名変更しなくても基幹産業の農業を発展させるなど、清水町を持続可能なまちにしていくやりかたはたくさんあると思う。名称の統一化を図るのであれば、逆に今、十勝がついているものを外せば良いのではないか。

→（町長）

十勝をつける方が効果が高いとの考えでご提案させていただいている。今、清水にあるものを活かしていくのはもちろんだが、話題はたくさんあった方がいいと考えている。

○住民投票は過半数以上の賛成で進めていくとの話だが、投票率も意識した中で条例案を作成してほしい。

→（町長）

いろいろな事例があるが、皆様のご意見を踏まえながら検討していきたい。

○住民投票の結果で今後の方針を決定するとの認識で間違い無いか。

→（町長）

丁寧な説明を行った上で、住民投票の判断を尊重し今後進めていきたい。

○大きな施策であるため、もっと町内でも徹底的な議論を行った上で進めていくべきではないか。町長公約にも無かった内容である。

→（町長）

公約を実現していくための戦術として考えている。いただいたご意見を踏まえながら、今後皆様と考えていきたい。

○今回の説明会での意見を踏まえた上での進め方や方向性は、どのようなかたちで示されるのか。改めて住民説明会を行うのか。

→（鈴木課長）

ブラッシュアップした内容は共有させていただくが、方法については検討していく。

5 閉会